

出逢う人と 奉仕を共に

宮崎南ロータリークラブ
会長 野田 一孝

第1895回例会 2016.11.7

会長／野田 一孝 幹事／井上 竜志
副会長／日高 章智 会報／戸高 勝利
例会場／宮崎観光ホテル
ソング／日も風も星も
ロータリーの目的

副会長挨拶

日高章智副会長



今日は野田会長が橿原市建築士会30周年記念式典へ宮崎支部長として、公務出張されましたので、代わりましてご挨拶申し上げます。

連日秋晴の好天が続きます。昨日は南RCゴルフコンペが宮崎カントリークラブで開催されました。又とない晴天にめぐまれましたが、女子プロの最終戦、リコーカップの前でもあり、コースの深いラフに皆さん苦しまれた様子でした。それにしても素晴らしい松林に囲まれた宮崎一番のコースが松食い虫の被害により数千本の松の大木が切り倒され、見るも無惨な姿に本当に残念な思いでした。

ゴルフ場を見下ろす岩切章太郎翁の銅像もいたく嘆かれていると胸が痛む思いです。

一方のフェニックスカントリークラブは創業者の強い信念が受け継がれ黒松の森が美しい緑のまま保護され今日に至っています。日本各地で松の被害が広がる中、日本の宝でもある、美しい松の緑を次の世代に引き継ぐ努力を官民あげて取り組むべきではないでしょうか。

出席委員会報告

松田安典委員長

●出席状況

本日状況		前々回状況	
会員数 (39)	41名	会員数 (39)	41名
本日欠席者数	13名	ホームクラブ出席者数	28名
本日出席者数	28名	メイクアップ数	3名
出席率	76.32%	修正出席者数	31名
		修正出席率	83.78%

●前々回メイクアップされた方／湯地浩隆会員、田中 寛会員、戸高勝利会員

ニコニコ BOX 1件 2,000円
累計 47,000円

募金箱 5,322円
累計 64,827円

親睦委員会

大迫雅浩委員



・11月14日(月)は夜間例会になっております。ホテルJALシティ宮崎。18:30～お間違え無いよう、宜しくお願いします。

ニコニコBOX

開地俊昭会員

遊んできました。



ロータリーフラッシュ

●誕生月

大迫三郎会員
丸山一郎会員
鬼束孝仁会員
戸高勝利会員
長澤好太郎会員



●結婚月

橋口正樹会員
中原伸博会員
山地久守会員
入佐秀幸会員
分田正明会員
松本佳士会員
星野敬人会員



2015～16年度決算報告 山崎栄一郎直前幹事



2015年7月～2016年6月までの会計において一般会計・特別会計・ニコボックスの監査あたり、通帳と支出証明書に相違ありませんでした。

本日のプログラム

会員卓話

ロータリー財団について 川野一義委員長



ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、

世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。より良い地域づくりのための活動やグローバルなイニシアチブを資金面で支えているのが、ロータリー財団です。クラブや地区に補助金を提供しているほか、ポリオの撲滅や平和の推進といったグローバルなキャンペーンを展開しています。こうした活動や補助金を実現させているのが、皆さまからロータリー財団へのご寄付です。

ポール・ハリス・フェローとは、国際ロータリーのロータリー財団に1,000米ドル以上の寄付をした人、または名義人を称える認証です。

ポール・ハリス・フェローの認証は、1957年、当時唯一の財団プログラムであり、国際親善奨学金の前身となった「Rotary Foundation Fellowships for Advanced Study（高等教育のためのロータリー財団フェローシップ）」への寄付に対する謝意を示し、さらなる支援を向上させるために設立されました。

最初にフェローとして認証された人物には、アリソン G. ブラッシュ1937-38年度RI理事や、長期にわたってRI財務長を務めたルーファス F. チャピン財務長などが含まれ、両氏ともに1946年に寄付を行いました。1953年には、アダン・バルガスさんが、女性として始めて認証を受け、1957年には2人目の女性としてハリー L. ジョーンズさんが認証されました。ジョーンズさんは、同年5人のみであった認証受領者の一人でした。

初期のポール・ハリス・フェローには表彰状が授

与されていましたが、1969年にハワイで行われたホノルル国際大会を皮切りに、メダルの贈呈が行われるようになりました。このメダルは、当時の財団管理委員であった湯浅恭三氏のもと、日本人のメタルアーティストであるフィジュー・ツダさんによってデザインされました。今日、ポール・ハリス・フェローには表彰状とピンが贈呈され、メダルは任意で購入するというかたちになっています。

ロータリアンは、ほかの個人に感謝の意や敬意を示すために、ロータリー財団に寄付する伝統をもっています。1978年、ヴァン・テイラー地区ガバナーは、結婚34周年を記念してイダ・レトゥール夫人の名の下に寄付を行い、同夫人は25,000人目となるポール・ハリス・フェローの認証を受けることとなりました。

1979年の国際協議会で、当時のジェームス・ボーマー会長エレクトが、クラブからロータリアン以外で一人のポール・ハリス・フェローを出そうと、各クラブに激励の言葉を送りました。続く1980年、米国メリーランド州のピクスヴィル・ロータリー・クラブがマザー・テレサの名の元に寄付を行いました。同様に、マサチューセッツ州ケープコッド地域のクラブが協同寄付を行い、エンターテイナーであるパール・ベイリーさんにポール・ハリス・フェローの認証を授けました。

このほかにも多くの著名人がポール・ハリス・フェローとして名を連ね、ジミー・カーター元アメリカ大統領、ボリス・エリツィン元ロシア大統領、アポロ13号の船員であったジェームス・ラヴェル飛行士、国連のハビエル・ペレス・デ・クエヤル事務総長、ポリオ・ワクチンを開発したジョナス・ソーク博士などがポール・ハリス・フェローとなっています。2006年、ポール・ハリス・フェローの数は100万人に達しました。

松くい虫について

丸山一郎会員



近年、松くい虫によるクロマツの枯損状況は大変な状況にあります。宮崎カントリーだけでも年に900本から1000本程度が伐採されて、隣のコースはさえぎるものがないといったことになっております。松くい虫は明治38～40年に初めて長崎・鹿児島で報告されており、外来のものでどこから来たかは不明ですが、アメリカ

カでは昔からあったといわれています。それが昭和40年半ばから被害が顕著になっております。それまでは松林の維持管理がなされ、松葉や枯木など燃料として利用されていたものがそれが放置されるようになったことが原因で、近年特に薬剤の空中散布に対する住民の抵抗が激しいことが拍車を掛けていると考えられます。

松は夏から秋に掛けて枯れ始め葉は急に赤茶色になって目立ちます。秋からも枯れることがありますがこの場合は進行の度合いが遅く、だんだんと黄褐色になって枯れていきます。木は全体が枯れていきます。初期の段階でも枝を折っても松脂が出ないので分かります。それで判定の方法としてポンチで丸い穴を幹に数箇所あけて樹脂の出が少ないか全く出ない場合は松くい虫の被害が疑われることとなります。

松くい虫の被害はどうして起こるかという、病原はマツノマダラカミキリという虫とマツノザイセンチュウというセンチュウが関係しています。

松くい虫によって枯れた松の中にはセンチュウとカミキリムシの幼虫が生息しています。幼虫は松の中で越冬しますが2月頃にはセンチュウが幼虫の周りに集まり、5～6月ごろにはサナギになり1ヶ月足らずに成虫になって枯れ松から飛び立っていきます。このときにはカミキリムシの体の中にはセンチュウが何万と入っているのです。元気な松の若い枝を食べたときに健全な松の身体に入って増殖するわけです。

センチュウは松の水を吸い上げる仮導管の機能を低下させ、葉からの蒸散に水が追いつかなくなり仮導管の中に気泡が入り込んで水柱が切断された状態になり水分の通導性が20～40パーセント迄落ち込み樹脂も出なくなり、枯れることになるわけです。

こうして弱ったり枯れたりした松にカミキリムシが産卵し松の中にカミキリ虫の幼虫が松の皮の下あたりを食べ、穴を掘ってまた越冬するというサイクルを繰り返すこととなります。

松くい虫の予防はカミキリムシには、薬剤の空中散布や伐採・焼却、センチュウには薬剤の樹幹注入。抵抗性のある松を植えることなどがあります。

カミキリムシの薬剤は一般的なスミチオンが使われますが、薬効の長いマイクロカプセル剤のスミパインが使われるようになっております。樹幹注入は

水の動いていない11月から3月の間に行ないます。薬代が高いし、松に対するストレスも多いので制約が多いです。